



『10%ストップ・アピール』の賛同 1万人めざす

京都の会 署名・宣伝・団体訪問で広げる

京都では昨年12月25日に「10月消費税10%ストップ！京都ネットワーク」（略称：10%ストップ！京都ネット）を立ち上げました。

呼びかけ人は、上原実・京都農民連副会長、久保田憲一・スナック「おか」店主、3児の母の西郷南海子さん、永野義典（京滋税経新人会会長・京都税制研究所理事長・税理士）、浜矩子・同志社大学大学院教授、松尾匡・立命館大学経済学部教授、三寫太郎・三嶋亭五代目当主（50音順）の7人です。

そしてアピールへの賛同者を京都府下で一人を目標にして署名とともに取り組むようにしました。京都ネットのHP（アドレス <http://stop-zozzeikyoto.net/>）に賛同していただいた方

に行政区・市町村ごとに掲載することになりました。

この運動は、今年10月の消費税増税ストップのための時限的な運動です。それは京都で初めてのHP上からも賛同できる運動形態です。

「消費税なくす京都の会」は、



京都市のJR円町駅での街頭宣伝＝1月11日

10月消費税10%ストップの一点に絞った取り組みは、情勢にあったものと前向きに位置づけネットワークに積極的に参加しています。そしてQRコードを大きく入れたチラシを大量に作製し、団体訪問の規模を広げることなどの提案も行いました。

SNS利用に慣れていない人には難しいこともあります。QRコードを入れたビラはスマホ世代に「あなたも賛同して声をあげましょう」という呼びかけに効果抜群です。こうした新しいタイプの対話型のビラは運動する仲間を増やします。「なくす会」のメンバーもスマホに挑戦です。

35の団体訪問で訴える

私たちは、恒例の1月3日の京都市・祇園石段下の宣伝、1月6日の円町宣伝を成功させました。2月には宣伝カーなどを使って街頭宣伝をしながら、ビラの普及のお願いに京都北部の丹後から南の山城まで、主に民商

や共産党地区委員会、消費税ネットなどの35団体を訪問しました。

各地で多彩なアピール活動

「生活も営業も大変」「増税もう決まったこと？国民の声で止められます」「あなたの署名・アピール参加で増税ストップ！」など訴える独自のビラを作製し配布しているネットワーク地域もあり、訪問すると元気をもらうこともたびたびです。

安倍首相がいかに「消費は持ち直し」「賃金は過去最高」「総雇用者所得は増えている」などと繰り返しても、国民の実感とかけ離れているという致命的な弱点があります。

庶民の暮らしの現実に背を向ける政権は長く続きません。「10月10%増税中止」の一点で共同を広げ、必ず増税を中止に追い込みましょう。その条件は日々広がっています。

消費税なくす京都の会

代表 藤田洋さん